

東海大学新聞掲載記事 (2021.7.1号)

静岡キャンパスの改組改編に向け会見

地元メディア対象に

東海大学が6月4日に静岡市・ホテルアソシア静岡で、2022年度の実施を構想している全学的な改組改編と、静岡キャンパスの新学部設置等を説明する記者会見を実施した。東海大では、建学80周年にあたる22年度に「日本まるごと学び改革実行プロジェクト」と題した改組改編を計画。現行の19学部75学科・専攻・課程の教育・研究体制から23学部62学科・専攻に移行する予定となっている。

東海大学建学の地である静岡では1962年に、清水校舎・海洋学部が設置され海洋に関する人材の育成が行われてきた。今回の改組改編では、同校舎に、新しく「人文学部人文学科」(設置届出中)が設置され、2学部体制に再編。海洋学部の学科も海洋理工学科 海洋理工学専攻(設置届出中)、同航海学専攻(設置届出中)、水産学科、海洋生物学科に再編成され、キャンパスの名称も「静岡キャンパス」となる。

記者会見は、改組改編の狙いや概要、新設の人文学部と海洋学部の特徴や新たな教育・研究体制等について広く説明の機会とすることが目的。静岡県内の新聞社やテレビ局など12社の報道陣を前に、山田清志学長、山田吉彦静岡キャンパス長、海洋学部の齋藤寛学部長、人文学部学部長に就任を予定している川崎一平教授が登壇した。

まず、山田学長が全学的な改組改編構想について説明し、「静岡キャンパスでは、地元根付いたローカルな側面を持ちながら、全国型の大学である本学の特徴を生かした教育・研究活動を展開していく」と語った。

さらに、8号館に駿河湾と富士山を眺めながら食事やゼミができ、地域住民らも使用可能な多目的スペースである「パシフィックビュープラザ」を新設する計画について紹介し、「潮騒の音を聞きながら勉強できる空間をつくっていく」と展望を披露した。

続いて、山田静岡キャンパス長が、「2学部は連携し、『駿河湾』をテーマに静岡について学ぶ科目などを展開することで、地元の知識を身につけてからそれぞれの専門に入る。人文学部では、“地域を考える”を横軸にした幅広い教育を行う。潮の香りのする学部で、静岡に貢献できるグローバルな視野を持つ人材の育成を目指す。海洋学部は横のつながりを重視した編成とし、東南海地震、津波にも対応できるよう海洋建設土木などに関する科目も発展的に見直す」と話した。

終了後には、県内の高校教員向けに新体制の説明会、個別相談も同会場で実施。川崎教授と齋藤学部長が詳細な授業内容や研究活動について熱弁をふるった。

望星丸で医療チームが父島へ

新型コロナワクチン接種を支援

国境離島の人々の安心・安全に

東海大の知見と機動力で貢献

日本本土から約1000キロ離れた国境離島である小笠原諸島・父島の島民の安心・安全の確保へ——東海大学が6月19日から、東京都小笠原村(父島)での新型コロナウイルスワクチン接種に向けて、医学部付属病院群の医療チームを学園の海洋調査研修船「望星丸」(国際総トン数=2174トン)で派遣。22、23日の2日間で、希望した島民949人の1回目となるワクチン接種を完了した。

東京都と小笠原村、東海大の3者は、5月に同村における新型コロナワクチン接種に係る連携・協力に関する協定を締結。医師、看護師、薬剤師らで構成する医療チームを2回にわたって派遣し、同村に供給された医療従事者等及び高齢者向け接種用ワクチンの余剰と、国が追加供給する分を用いて父島島民の12歳以上64歳以下の希望者に向けた集団接種を行う計画を進めている。

東海大では、海洋学部を中心に望星丸でたびたび小笠原諸島を訪れフィールド教育を実践。小笠原諸島に多くの同窓生が暮らすなど、深い交流を重ねてきた。

また、経験豊富な医学部の知見を望星丸の機動力を活用して派遣することで、ワクチンの円滑な接種に向けて地域の実情に応じた効果的な実施体制確保に貢献できることから協力を決定。望星丸の運航は上河内信義船長以下、同船のスタッフが通常どおり担当し、全員が出港直前のタイミングでPCR検査を受けるなど、感染拡大防止対策も徹底した。

現地スタッフと連携・協力7月に2回目の接種へ

医学部付属病院高度救命救急センターの守田誠司所長ら計10人で構成された1回目の接種を担当するメンバーを乗せた望星丸は、19日に清水港日の出埠頭を出港。この計画を主導した山田清志学長と山田吉彦静岡キャンパス長ら関係者が見送りに駆けつけ、山田学長が、「皆さんの熱い思いに支えられてワクチン接種が実現します。皆さん自身の健康にも留意し、元気に役割を果たしてください」とエールを送った。

望星丸は道中、天候の悪化などで揺れが激しくなることもあったが、21日に父島・二見港に着岸。医療チームはすぐに現地の医療従事者や村役場関係者らと合流し、会場となった小笠原村・海上自衛隊父島基地分遣隊の体育館の確認などの業務にあたった。翌22日と23日には、現地スタッフらと協力して合計949人のワクチン接種を実施。23日中に二見港を離岸した。

25日朝には望星丸が清水港に帰港。守田所長は、「父島の皆さんに温かく迎えていただきました。メンバーは医療従事者としての使命感を持って業務に向かい、多くの方たちの協力を得て無事に任務を終えることができました。本病院としてもコロナ禍への対応は今後も続いていくので、今回の経験を生かしていきたい」と話す。望星丸の上河内船長は、「7月の2回目の任務に向けて、船内の感染拡大防止対策をいま一度見直すとともに、あらためて船内を消毒するなど準備を進める」と語った。

なお、7月10日には2回目の接種を担当する医療チームが清水港を出港。13日と14日に小笠原村でワクチン接種に取り組む計画となっている。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365 システムによる生涯メールアドレスの利用
(tokai-u.jpのドメイン) 詳細は以下URLをご覧ください。
<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

インターネットホームページについて

URL : <https://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)
<https://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお問い合わせいたします。

東海大学校友会 (校友会・白鷗会・同窓会) 事務局
学校法人東海大学学園事務センター (学園校友ユニット)
〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)
E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学キャンパスサポートオフィス (後援会担当)
〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)
E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp